

令和4年度事業報告

(令和4年4月1日~令和5年3月31日)

会員

区分	部会等		R4.3.31	増減	R5.3.31	備考	
正会員	開業	1	310	△2	308	旧 AB	
		2	63	△6	57	旧 CDE	
	小計			373	△8	365	
	衛生・畜産	1	95	△4	91	旧 AB	
		2	5	0	5	旧 C	
	小計			100	△4	96	
	教育・研究他	1	86	△12	74	旧 AB	
		2	13	0	13	旧 C	
小計			99	△12	87		
合計			572	△24	548		
名誉会員	開業		0	2	2		
	衛生・畜産		0	2	2		
	教育・研究他		0	5	5		
	合計		0	9	9		
賛助会員	法人		26	5	31		
	個人		0	0	0		
	合計		26	5	31		
総合計			598	△10	588		

新会員 (令和4年4月1日から令和5年3月31日までに入会された会員)

区分	部会等		会員名 (受理順、敬称略) (()は勤務地)
正会員	開業	1	渡邊一郎(交野)、三好将志(堺)、中村秀顕(箕面)、尾川和弥(和泉)、加藤琢也(岸和田)、矢野将基(泉佐野)、
		2	辻本恭典、
	小計		7名
	衛生・畜産	1	津山栄一(大阪府)、高見成昭(大阪府)、
		小計	
	教育・研究他	1	大洞裕之(住友化学)、
小計		1名	
合計		10名	
賛助会員	法人		Daigas エナジー(株)、(一社)りんくう動物救急医療協会、積水ハウス建設関西(株)、(株)大丸松坂屋百貨店、石原産業(株)、双日オートグループ大阪(株)
	合計		6名
総合計			16名

会議等

役員会等開催概要		
定時総会	R4/6/4	<p>決議事項 令和3年度事業報告の件 令和3年度決算報告の件 会費の額及び納入方法について 名誉会員の改正について 会員の資格喪失の改正について</p> <p>報告事項 令和4年度事業計画の件 令和4年度収支予算の件 令和4年度資金調達及び設備投資の見込みについて 規則、規程等の改正について</p>
理事会	R4/5/13	<p>決議事項 名誉会員規程の修正 正会員の休会取扱規定 総会の開催方法 総会にかける決議事項 令和3年度事業報告の件 令和3年度決算報告の件 会費の額及び納入方法について 名誉会員の改正について 会員の資格喪失の改正について</p> <p>総会報告事項 令和4年度事業計画書の件 令和4年度収支予算書の件 令和4年度資金調達及び設備投資の見込み 規則、規程等の改正 事業報告 事務局長離任着任について</p>
	R4/6/4	<p>総会運営について 事業報告</p>
	R4/11/22	<p>理事会みなし決議 役員選任規程に基づく選挙管理委員の選任について 委員会委員の構成について 委員会規則の改正について</p>
	R5/3/3	<p>令和5年度事業計画書について 令和5年度収支予算書について 令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて 定款第6条の改正について 委員会規則別表の改正について 事業報告</p>
	R5/3/28	<p>理事会みなし決議 令和5年度事業計画書について 令和5年度収支予算書について 令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて</p>

(部会：開業；(開)、衛生・畜産；(衛)、教育・研究他；(教)、五十音順、敬称略)

業務執行理事	会長（代表理事）：佐伯潤(開)、 副会長：北原千春(開)・熊井優子(衛)・笹井和美(教)、 淡路俊喜(開)、田中啓一郎((衛)事務局)
理事	(開)：坂口秀平、田村浩司、西村巖童、 (衛)：中上昭二、橋詰克規、 (教)：中井正博、三宅眞実、
監事	佐藤昭司(開)、長濱伸也(衛)、秋吉秀保(教)
相談役	木下久則(開)、澤田勉(教)、

会務運営会議 業務執行理事	業務執行理事、相談役と関係者を交え、会の実務の執行について企画、検討、実施しました。 (開催：R4/4/22、5/27、6/17、7/22、8/26、9/16、10/21、11/18、12/23、R5/1/13、2/24、3/31)
------------------	---

委員会名	委員名
広報委員会	委員長：田中啓一郎(衛)、 (開)；江口之朗、木下久則、白石佳子、 (教)；秦敦朗、三宅眞実、 副委員長(IT担当)：大下勲(開)、 (開)；中野康彦、森渉、 (教)；川手憲俊 (開催：R4/7/19、10/20、10/27、11/25、11/28)
動物愛護推進委員会	委員長：淡路俊喜(開)、 大阪動物愛護フェスティバル委員会委員長：西村巖童(開)、 (開)；今西修大、尾芝仁、北原千春、下西清夫、新山亮、 安田圭一郎、 (衛)；山地良彦、 (教)；中井正博、深田恒夫 (開催：R4/6/8、6/29、8/3、9/13、10/26、R5/2/1、2/22)
学校飼育動物推進委員会	委員長：大下勲(開)、 (開)；江口之朗、会亀昭夫、木村英司、 (衛)；熊井優子、樋渡清美、光野京子、 (開催：R4/11/21)
動物救護等対策委員会	委員長：坂口秀平(開)、 大阪VMAT隊長；北原千春(開)、同副隊長；大下勲(開)、 (開)；佐藤光晴、志水孝臣、下西清夫、中津賞、山岸達郎、 (衛)；小泉典代、武田雅人、虎谷卓哉、橋詰 克規、 (教)；笹井和美、三宅眞実、 (開催：R4/7/25、11/12、11/23、12/7)
獣医学術委員会	委員長：田村浩司(開)、 (開)；淡路俊喜、佐藤昭司、佐藤光晴、(衛)；勝川千尋、 (教)；秋吉秀保、相馬武久、 (開催：R4/5/29、6/17、7/4、8/29、R5/1/30、2/6、2/10、2/18)

<p>狂犬病予防等 感染症対策委員会</p>	<p>委員長：三宅眞実(教)、副委員長：北原千春(開)、(開)；合原靖子、城塚隆宏、黒川慶一、田丸尚道、(衛)；熊井優子、中上昭二、服部武裕、(教)；笹井和美、安木真世 (開催：R4/9/9、12/7)</p>
<p>規律委員会</p>	<p>委員長：佐伯潤(開)、副委員長；北原千春(開)、熊井優子(衛)、笹井和美(教)、(開)；淡路俊喜、坂口秀平(衛)；田中啓一郎、</p>

1 感染症対策事業

(1) 狂犬病予防推進事業

ア 市町村が実施する狂犬病予防注射（以下「集合注射」という。）が、円滑かつ効率的に実施されるよう、また飼犬登録率の向上のため連携を密にした。

大阪府下 42 市町村（大阪市を除く。）と集合注射実施に向けて協議した。

（新型コロナウイルス感染症対応など）

集合注射の中止や延期等の対応が 14 の自治体でなされた。

イ 予防注射の接種率の向上を図るため周知啓発のためのポスターを会員動物病院、市町村担当窓口に掲出した。また、市町村各広報誌へ情報提供した。

ウ 本会が狂犬病予防注射業務研修をおこない、修了した会員獣医師を集合注射等協力獣医師として 319 名委嘱し、確認書の規定に基づき府内 40 市町村長へ推薦した。

エ 飼い主への不安軽減とワクチンによる事故情報を迅速に共有化することで注射の安全性向上を図るため、また、狂犬病予防注射の事故等の迅速対応体制を確認するため連絡会議を開催した。

オ 狂犬病予防注射接種による副反応やアナフィラキシー等有害事象について 1 件の報告があり、丁寧に飼い主に説明し、犬への治療対応も実施した。

カ 本会が作成している、条例に規定された犬を飼っている旨の表示（門標・犬シール）を魅力あるデザインにし、飼い主に無料で配布して接種率の向上を図った。

周知啓発

ホームページに掲載するとともに、市町村周知広報時に啓発文を掲載。

ポスター：会員動物病院(311 施設)と市町村担当窓口(42 カ所)に配布。

(2) 人と動物の共通感染症の対策と情報収集と啓発

ペット動物の SFTS(重症熱性血小板減少症候群)抗体保有調査を大阪健康安全基盤研究所と協働連携し実施した。また、SFTS のペット動物への注意喚起をホームページに登載した。

コロナ禍のなか、ペット動物のコロナ感染に関わる情報を会員動物病院と適宜共有し、風評被害や不安がないよう飼い主への適切な保健衛生指導や周知啓発を促した。

高病原性鳥インフルエンザの発生が養鶏施設や野鳥、野生動物に及び過去最高となった。鶏肉やタマゴの風評被害の発生がないように正しい情報の発信に努めた。

[情報発信対象] 会員、近畿地区獣医師会、各種団体、一般

[対応会員動物病院数] 311 動物病院

(3) 家畜衛生・食品衛生・畜産分野での周知啓発事業

家畜衛生、食品衛生、食肉衛生、畜産分野で最新情報を発信するためホームページに掲載するとともに、チラシ・掲示物で周知した。

豚熱の発生が、イノシシなどの野生でも確認された。豚肉の風評被害の発生がないよう正しい情報の発信に努めた。

農水省がすすめている魚病に詳しい獣医師事業に協力し、養殖場の疾病管理情報の発信と周知に努めるとともに協力獣医師リストに搭載した。

2 動物愛護事業

(1) 大阪動物愛護フェスティバル事業

「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づく動物愛護週間の支援事業として、公益社団法人大阪市獣医師会と主催し、大阪府、大阪市と共催し、環境省、公益社団法人日本動物福祉協会の後援で、「命ある動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深める」ため、「みんなともだち 地球の仲間」をテーマとして大阪市中央公会堂と大阪城公園太陽の広場にて開催する予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため事業実施内容を大幅に割愛縮小し、Webでの長寿動物表彰のみを次のとおり実施し動物の愛護と適正な飼養について周知啓発した。

ア 長寿動物表彰式 (Web 配信：R4/9/20～9/25)

[表彰基準] 大型犬：14歳以上、中・小型犬：16歳以上、猫：18歳以上 合計794頭表彰

[特別長寿表彰] 五月山動物園：ウォンバット：33歳

イ 講演会：中止

ウ 動物愛護精神の涵養のため、幼稚園などの幼児による絵画の展示：中止

◎大阪城公園太陽の広場：中止

下記内容全て中止

ア 盲導犬の紹介と演技をとおして、身体障害者補助犬を正しく理解されるよう周知啓発する。

イ 警察犬、災害救助犬の紹介と演習をとおして、犬の訓練としつけが人の生活に必要なことを周知啓発するとともに動物と共存することの楽しさを伝える。

ウ しつけ教室を開催し、しつけの実技指導をとおして、より適切な管理を啓発する。

エ 無料動物健康相談を開設し、診療などへの質問、相談に応じる。

(2) 動物救護等対策事業

大阪VMAT（災害動物医療支援チーム Veterinary Medical Assistance Team）を、獣医療関係者（獣医師、動物病院スタッフなど）で構成運営し、web 講習会を主催した。

R4/8/21：「災害時のペット支援のあり方と具体策」 講師：富士岡 剛氏

大阪府や市町村の地域防災訓練にコロナ感染防止対策を行って参加し、ペット動物の同行避難の周知啓発を実施した。

R4/11/12：泉南市・イオングループ合同防災訓練に参加

R4/11/23：富田林市防災フェアに参加

ア 地域防災訓練等に併せて会員動物病院の連絡網の再確認と web による情報の共有化を実施した。

イ 災害時避難所へのペット同行避難の周知徹底を市町村へ周知するとともに、避難所でのペット収容ケージ 70 台の 10 施設への配備確認。

ウ 災害発生時に備えるため、「災害時動物救護協力病院」の確認を行った。

エ 動物の個体識別のためのマイクロチップの普及事業

逸走動物を早期に飼い主のもとに戻すため、日本獣医師会の個体識別措置推進事業と協働しマイクロチップの普及周知啓発を行った。

オ 自己完結型救護活動を目指し次の確認点検をおこなった。

災害時用テント 1 張り、小型テント 2 張り、簡易トイレテント 1 張り、折畳ベンチ 3 脚、折畳机 4 脚、折畳椅子 3 脚、カセットガス発電機 1 台、カセットガスストーブ 4 台、ポータブル電源 2 台、太陽光パネル 2 台、ペットキャリーバッグ 3 個、災害時用ケージ 70 台、投光器 2 台、ヘルメット 20 個、ヘルメットランプ 10 個、トランシーバー 6 台、災害本部幟旗 3 旗、カセットガスボンベ 48 本（ローリングストック 7 本/年）、

カ 狂犬病予防ワクチン備蓄 3150 頭分 協力病院数 30 病院を確認

備蓄方法：流通在庫備蓄方式(ローリングストック方式)

キ 豚熱ワクチン接種支援可能獣医師リスト

大規模な家畜伝染病発生等の緊急時に行政から支援要請が想定され、このような要請に速やかに対応できるようにリストに登録協力した。

(3) 野生鳥獣救護事業

大阪府野生鳥獣救護ドクターとして協働した。

野生鳥獣救護ドクター登録数：43 名（内 特定救護 3 名）

救護等実績数：155(154)件（内訳：鳥類 154(153)件、獣類 1(1)件）（（ ）内は府報告分）
また、特定非営利活動法人野生動物救護獣医師協会の講習会やポスター「ヒナを拾わないで」
を後援し、周知啓発した。

（４）その他

◎大阪府飼養管理サポート事業に連携協働

受入動物病院：14 病院、実施動物病院：7 病院、サポート子猫：19 頭
受入動物病院：3 病院、実施動物病院：3 病院、サポート犬：3 頭

◎大阪府所有者のいない猫対策支援事業に連携協働

河内長野市の1地域1病院、避妊手術(耳カット含む)3匹、去勢0匹、助言相談1回

◎大阪府子猫育成サポート事業に連携協働

指定動物病院：12 病院、実施動物病院：2 病院、対象子猫：3 頭

◎大阪府適正飼養普及啓発事業

講師として会員獣医師を推薦し4か所で獣医療からの適正飼養を啓発した。

◎大阪府動物愛護推進協議会に佐伯会長、動物愛護推進委員会の淡路委員長が委員として参画。

◎大阪府動物愛護推進員に会員を推薦。

◎大阪府感染症媒介動物対策等検討会に佐伯会長が委員として参画。

◎大阪府アライグマ被害対策検討委員会に佐伯会長が委員として参画。

◎大阪府畜産会衛生対策事業等に会員が委員として参画。

3 学校飼育動物事業

（１）大阪府教育庁、学校教育関係者等への学校飼育動物に対する技術的指導、支援

教育庁市町村担当主事研修を支援した。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
オンデマンド開催とし、事前に募集した質問への回答を含めた研修動画を撮影した。
講師は学校飼育動物推進委員会の大下勲委員長が務めた。

（２）各市町村学校における子どもたち等への学校飼育動物の講習会等への協力

学校飼育動物協力獣医師：55 名
市町村教育委員会：42 機関
対象小学校・支援学校：733 校

学校での動物飼育の発表展示（於：大阪動物愛護フェスティバル）

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

学校飼育動物奨励表彰（於：大阪動物愛護フェスティバル）

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

学校飼育動物特別講義支援

R4/11/26：大阪大谷大学教育学部教育学科幼児教育専攻自然教育コース学生 40名
特別講義学外講師 学校飼育動物推進委員 大下勲先生

学校飼育動物推進委員会委員、大阪府立農芸高校ふれあい動物専攻生徒

・がっこう動物新聞（壁新聞）10号11号を配付

配付先：大阪府教育庁事務局市町村教育室小中学校課及び教育振興室支援教育課の2課、大阪府下（大阪市を除く）の各市町村教育委員会事務局：42事務局、大阪府下（大阪市を除く）の小学校：733校、支援学校：46校、本会会員の動物病院：313施設

4 学術普及事業

(1) 学会、研修、講習会の開催

1. R4/8/5：「小動物医療従事者が知っておくべき愛玩動物看護師法と今後の対応変化」

講師：佐伯潤 先生 日本獣医師会 理事（動物福祉・愛護職域担当） 大阪府獣医師会 会長

帝京科学大学生命環境学部 教授

場所：ウェブライブ配信(ZOOM)※見逃し配信有

対象：院長、勤務獣医師、動物看護師、その他勤務スタッフ

受講費：会員・会員病院スタッフについては無料

2. R4/11/15：「絶対成功する！初めての症例発表 R4」症例発表練習会

① 症例発表を成功に導くためのショートレクチャー

講師 鳩谷晋吾 先生 大阪公立大学大学院獣医学研究科 准教授

②症例発表練習会 4題

③アドバイザー：

鳩谷晋吾 先生 大阪公立大学大学院獣医学研究科細胞病態学研究グループ 准教授

古家 優 先生 大阪公立大学大学院獣医学研究科獣医内科学研究グループ 准教授

西田英高 先生 大阪公立大学大学院獣医学研究科獣医外科学研究グループ 准教授

3. R4/12/11：「呼吸器疾患の診断・治療 ブラッシュアップ！～鼻の穴から喉の奥まで～」

場所：大阪 ECO 動物海洋専門学校

講師：末松正弘先生（AMC 末松どうぶつ病院院長、京都動物医療センター呼吸器科、TRVA 動物医療センター呼吸器科）

4. R5/2/19：症例検討会

場所：新日本カレンダー 症例検討数 6題

座長：末松正弘先生（AMC 末松どうぶつ病院院長、京都動物医療センター呼吸器科、TRVA 動物医療センター呼吸器科）

秋吉秀保先生（学術委員、大阪公立大学大学院獣医学研究科獣医外科学研究グループ 教授）

5. R5/2/19：「気管・気管支疾患の診断・治療 ～X線、透視、内視鏡で読み解こう！～」

場所：新日本カレンダー

講師：末松正弘先生（AMC 末松どうぶつ病院院長、京都動物医療センター呼吸器科、TRVA 動物医療センター呼吸器科）

(2) 学会、研修、講習会の共催、協力

1. R4/5/22：狂犬病臨床研究会 狂犬病セミナーR4
2. R4/6/19：大阪市獣医師会 小動物診療技術講習会
3. R4/6/26：日本獣医麻酔外科学会 馬の麻酔に関するオンラインセミナー
4. R4/7/22~24：日本獣医麻酔外科学会 第104回オンライン学術集会
5. R4/7/24：日本獣医エキゾチック動物学会 2022年夏季オンラインセミナー
6. R4/8/21：獣医学術近畿地区学会 産業動物学会、小動物学会、獣医公衆衛生学会
7. R4/8/27~28：比較統合医療学会 第65回学術大会 「未来の pandemic に備えて～あらゆる医療の統合的検証～」
8. R4/9/1：日本獣医臨床病理学会 正確な臨床検査のためにいま私たちができること
9. R4/9/3：日本学術会議、日本法獣医学会 シンポジウム「法獣医学の世界」
10. R4/9/4：第24回全国学校飼育動物研究大会 「学校飼育動物への関心を高め理解を深めるために～変わりゆく学校での飼育活動～」
11. R4/9/11：大阪市獣医師会 第2回小動物診療技術講習会「明日から自信を持って取り組める上部呼吸器疾患の診断と治療見て聞いて考える2時間」
12. R4/9/25：アニマルハーモニー大阪のつどい R4 自然探索ツアー、わんにゃん教室 theVR・譲渡動物の紹介・ふれあい体験等
13. R4/10/1：大阪公立大学獣医臨床センター学術セミナー 第7回 OMU-VMC Web セミナー 「先生、犬が倒れてます！一失神発作に対するアプローチ」
14. R4/10/23：大阪公立大学共催 馬飼養衛生管理地方講習会「疝痛の治療について学ぶ」
15. R4/11/11~13：第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会、連携開催：第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会
16. R4/11/21：環境農林水産総合研究所法人化10周年記念シンポジウム
17. R4/12/11：大阪市獣医師会 症例検討会・小動物診療技術講習会
18. R4/12/18：奈良県獣医師会 2022学術セミナー 「獣医腫瘍学 臨床家と病理医のクロスセクション」
19. R4/12/23~25：日本獣医麻酔外科学会 第105回学術集会
20. R5/1/15：大阪公立大学獣医臨床センター学術セミナー 第8回 OMU-VMC Web セミナー 「悩ましい！？慢性腸症と消化器型リンパ腫の鑑別診断と治療」
21. R5/3/5：大阪市獣医師会 第4回小動物診療技術講習会「犬と猫の慢性腎臓表のアップデート」

ト 2023」

- 22. R5/3/25：日本小動物歯科研究会 30周年記念講演 「歯周外科治療最前線」「口腔歯科に対する治療トラブルおよび相談症例」
- 23. R5/3/26：日本小動物歯科研究会 第31回症例検討会総会
- 24. R5/3/26：獣医脳神経脊椎外科研究会 年次講演会 2023「これからの獣医脳神経脊椎外科の課題」

(3) 学会への参加発表の奨励、表彰

本会の公益活動の発展に貢献、功績のあったものに会長賞を授与した。

会長賞

- 岩崎 圭里 様
- 児島 達郎 様
- 田丸 尚道 様
- 合原 靖子 様
- 中野 康彦 様

令和5年挙行の各卒業式において成績優秀で将来の発展が期待できるものとして会長表彰状を授与した。

- 中村 友紀 様 大阪府立大学獣医学科(R5/3/24)
- 井関 友菜 様 大阪 ECO 動物海洋専門学校(R5/3/7)
- 山下 実友 様 大阪ベピイ動物看護専門学校(R5/3/22)

(4) その他

学術情報等を掲載した会報を発行した。発行部数：800部

配布先：会員、近畿地区連合獣医師会構成獣医師会、関係行政機関、動物関係団体、薬業関係農林水産省の「養殖場における魚病診断等に協力できる獣医師」リストに協力し、魚病に関する研修などの周知を行った。

その他の事業

1 獣医療に関わる者の待遇改善・福利厚生に関する事業として実施した。

(1) 社員並びにその親族への慶弔と見舞金の給付

日本獣医師会獣医師福祉共済事業で福利厚生を図った。

訃報に接して、供花、香典等で弔慰をしめした。(受信順、敬称略)

開業部会	今田博之(父)、山本昇三(本人)、福井完次(本人)、上田秀夫(父)、
教育・研究他部会	浜名克己(本人)

(2) 獣医療証明様式などの頒布

日本獣医師会様式や同意書等を頒布した。

(3) 会員への情報提供等

会員専用ホームページから速報や訃報で、また文書で情報提供した。

2 大阪府動物愛護管理基金寄附事業

大阪府動物愛護管理基金に寄附し、動物愛護・動物福祉の向上に資することを目的とする事業を実施したが、利益が生じなかったため寄附できなかった。